

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 7年 3月 16日

事業所名 フレンズ鶴ヶ峰

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切である	4	4		スペースのレイアウト変更	死角が来ないように改善する。
	②	職員の配置数は適切である	1	6	1	最低基準で行えるように工夫	適切とは思わない、有資格者以外の職員も配置 したい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	2	6		概念にもよるが、現状維持	死角が来ないように改善する。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル （目標設定と振り返り）に、広く職員が参画 している	3	3	2	職員への認識を広める	業務改善は職員一同意見を出し合う。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	8			アンケート意向など職員で共有	全ての対応は難しいが、ひとつずつ改善をして いる。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	8			職員への認識を広める	会報は職員の意見を聞いて、作成し内容を改善 している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	1	2	5	参画してもらうべき	外部評価を改善に繋げられるようにしたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	6	2		時間の配慮をしながら参加してもらう	支援時間が取られすぎて、研究が行える時間を 確保したい。
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	8			職員共有	職員一同で分析評価して支援計画に反映させ る。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	3	3	2	使用中	使いにくいので今後は違うツールを検討してい きたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	4		今後記録を残す	チームでなく、常勤が立案を全員でできるよう改 善する。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	6	2		定期的に見直し	固定化しないように全員で内容を改善する。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	8			定期的に見直し	ある程度は出来ているがさらに向上を目指す。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	8			今後も継続	ある程度は出来ているがさらに向上を目指す。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	6	2			開始前は個々に分担説明をルーティン化する。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	1	4	3		終了後は出来ないで、明朝ミーティングを行う。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	4		記録を作成	連絡帳で行っているが、来年度は別処理に出来 るよう改善中。
	⑱	定期的なモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	8			必要に応じて行う	必要性は感じている。実施内容について改善して いきたい。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	4	4		システム化を検討	時間が短くなかなか難しい。ルーティン化出来る ように改善したい。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	6	1	1		参画しているが、時間が合わず難しい。職員の増 員で改善したい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえぬ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善 目標
関係機関や保護者との連携	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8			保護者に協力を依頼	十分対応できているが、システム化を改善したい。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	6	1		該当児童がおらず、システム化の改善が必要。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	2			此方からは対応改善できているが、先方の拒否が強い。先方側の改善を求める。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	4			今年初めて行う予定。今後の収集としてシステム化を改善していく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	4			センターとの交流が難しい。来年度はさらなる向上を目指したい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	1	6		保護者の意向もあり、難しい。改善していく方向はある。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	4	2		参加しているが、時間が足りない。職員の配置増加を目指したい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	2		送迎時報告	共通理解はできているが、全体の共有をシステム化したい。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	6			ペアレントトレーニングは知識が乏しく今後の課題をとして改善を優先に考えたい。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8				従来通り出来ているが、更に向上を目指す。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8				従来通り出来ているが、更に向上を目指す。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2	5		個々の意向があり、なかなかできない。来年度はいまほり遠慮で連携を目指したい。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	1			従来通り誠意をもって適切に対応向上を目指します。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8				毎月行えるよう改善を目指す。
	㉟	個人情報に十分注意している	6	2		情報共有のシステム化	十分出来ていると思っていたが色々指摘を頂き、改善していきます。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	2			十分出来ていると思っていたが色々指摘を頂き、改善していきます。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	5		招待を検討しているが、営業時間中に出来ない為、改善を講じる必要がある。
	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	2			保護者にも掲示し、周知してもらう。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8				定期的に訓練は行っているが、1週間通して行いたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善 目標
非常 時 等 の 対 応	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしている	6	2			研修期間は確保しているが、適切な方法での改 善を目指したい。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し理解を得た上で、放課 後等デイサービス計画に記載している	8				明記しているが、内容については別途必要と感じ ている。改善を目指したい。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	2	6			現時点でいないが、今後の対応として改善を進め る。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	2	6			共有はしているが、事例集を作成していく。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表:令和 7年 3月 16日

事業所名 フレンズ鶴ヶ峰 保護者等数(児童数)18 回収数 13 割合 72 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	9	4		・子どもが何人いて、どのような活動をしているのかわからない ・スペースについてはわからない	・子どもは定員10名で12名までお預かりする場合があります。活動は運動療育を中心に宿題への取り組みの他、制作など別途課題をご用意しています。 ・スペースについては、1人当たり1.65㎡を確保しおおよそ3㎡は確保しております。
	②	職員の配置数や専門性は適切である	8	5		・送迎が大変そう	送迎についてご配慮ありがとうございます。現在は2~3名体制で行っております。保護者様のお迎え等、今年度は多大なご協力頂き誠にありがとうございました。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	10	2	1	・室内は微妙だが、配慮は見られる	ご指摘ありがとうございます。室内は徐々に改善しておりますが、手すり等の設置は難しいので、ご利用様が怪我のないように配慮できる配置へ変更していきます。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	11	2			高評価ありがとうございます。利用者様への課題については、職員で検討し無理がないようおこなっております。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	9	4		・細かい運動内容までは分からない	ご指摘ありがとうございます。細かい運動は難しいので指先運動や体全体を使つての運動を中心に行っております。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	6	4		ご家庭の希望もありませんなかなかできないところです。公園遊びの時は地域の方々と交流が持てるように促しております。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13				高評価ありがとうございます。来年度の内容については5月頃確定し、ご報告させていただきます。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている	11	2		・帰りに今日の様子を話す	高評価ありがとうございます。時間の許す限り、今日の様子は必ずドライバーからご連絡をするように心がけております。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	12	1			高評価ありがとうございます。育児の考えは様々ですが、今後も保護者様が安心して育児に取り組めるように支援してまいります。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1	6	6		コロナから保護者会は閉鎖しておりますが、ミニ茶話会など行えればと考えております。保護者様の希望に添った形で出来ればと思います。また、毎年芋ほり遠足しておりますので是非参加してください。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	4			対応整備は、全職員が対応できるように研修も行ってあります。引き続き保護者様が不快にならないよう迅速な対応をおこなって参ります。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	12	1			高評価ありがとうございます。今後も様々な情報提供を出来るように情報収集に努めます。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	12	1			
非常時 等の 対応	⑭	個人情報に十分注意している	10	2	1	・他のおさんの家庭環境や学校生活など名前を出して話す	貴重なご意見ありがとうございます。問題視すべき点があったときに説明の為出ている場合があります。今後説明方法を慎重に行います。
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	10	3			
満足 度	⑯	子どもは通所を楽しみにしている	8	4	1	・毎週行くの楽しみにしています ・同じ学年のお友達がなくて楽しそうです	満足できるように努力を怠らず頑張っております。
	⑰	事業所の支援に満足している	12	1		・まだ通い出して日が浅いですが、通う前と比べてだいぶ子供の気持ちが安定してきたように思います。 ・助かっています。 ・大変お世話になり子供も楽しみに通所させて頂き感謝しています	高評価ありがとうございます。ご家庭と共にお子様の発達を支援をがんばってまいります。

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等
デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 7年 3月 16日

事業所名 フレンズ鶴ヶ峰

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		集団と個室に区別	設置基準は問題ないが特性に合わせたスペースにしたい
	②	職員の配置数は適切である	2	6		最低基準で支援を行っている 資格にこだわりすぎて良い支援が行えない 支援基準を改善して欲しい
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8		死角が出来ないように配置の配慮	個々への構造化は少し厳しいがある程度出来ている 子どもが死角で遊ばないように死角をなくしていきたい
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	2	衛生管理	危険を回避できる空間づくりを常に意識して努めている
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	4		短い時間で良いから参画できる時間をつくりたい
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		活用する	日頃から保護者様の意見を聞ける空間をつくる
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8		自己評価の掲載	保護者様への告知方法を工夫していく
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	7		優先順位を考えても改善すべき点である
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	2	オンライン研修を活用	研修機会を設けているが、外部に行かないと支援時間と重なり改善が必要
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		定期的に保護者から情報入手	個々の意見だけでなく、シートを使った分析を目標に利用する
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	5		来年度からアセスメントツールを活用する方向を検討している
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	3	支援内容は常に工夫する	地域支援に関しては、保護者の意向を尊重し改善する

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		定期的だけでなく、都度見直し	個々に合った支援だけでなく、集団での支援を統一したい	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	3	個人の負担にならないようにする	チームと言えるほどではないが、複数で検討するように改善する	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	6	工夫すべき	固定化されているイメージが強い、内容に変化を加えていくようにしたい	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	8			適度にできているが、もう少し改善していきたいと思う	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			従来通りできているが、更に細かい配慮を加えていきたい	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	6		終了時間が違うので、引き続き朝のミーティングで行う	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			日報を改善していきたい	
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8			定期的に行っているが、発達の度合いで都度判断し、改善する	
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	3		ふさわしいものは参画できるように時間配慮を行う
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8			できていると判断している
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		8		現在それに近い利用者がいるので改善する	
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		8		現在それに近い利用者がいるので改善する	
㉕		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	2		現在それに近い利用者がいるので改善する	
㉖		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	2		現在それに近い利用者がいるので改善する	
㉗		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	5		なかなかいけない。壁が厚いのでセンターの情報開示を改善して欲しい	
㉘		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	5		保護者の意向もあり、積極的にしないが、機会があるときは参加する	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	②9	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	4		時間がなく、参加できない 来年度は参加したい
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		送迎時	必ず利用者の状況報告をおこなう
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	4		ペアレントトレーニングは毎年の課題である
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1		出来ていると思うが、向上を目指します
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8			出来ていると思うが、向上を目指します
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			出来ていると思うが、向上を目指します
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	4		これからの課題であり、システム化が必要 更に保護者の意見を統一して行くため時間はかかる
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8			出来ていると思うが、向上を目指します
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			出来ていると思うが、向上を目指します
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	8			出来ていると思っていたが、伝え方の配慮が今後の課題として向上を目指します
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			出来ていると思うが、向上を目指します
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8			これからの課題であるが、こちらから地域に参加していく受入れが難しい
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	2	
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	2		定期的に訓練は行いが、1週間を通して行いが難しい
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8			ある程度知識は備えているが、職員一同の共有研修が今後の課題である

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8			現時点ではないが、今後の対応として改善目標である
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	5		事業所内で共有は出来ているが事例集の作成が今後の課題である
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	4		事業所内での共有はまだ時間がかかるが、常に虐待に関する研修は個々で受講をしている
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8			虐待同様身体拘束も事業所内で共有提示はしている 今 後も向上を目指し改善目標とする

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表:令和 7年 3月 16日

事業所名 フレンズ鶴ヶ峰教室

保護者等数(児童数)12 回収数 10 割合 83%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	4			・少し室内が狭く感じるが公園や配置変更等で工夫されている ・スペース確保されています	スペースが狭く感じないようにレイアウト変更を行いました。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6	2		2	・毎回確認できていないので正確性はわからない・適切です・何人位利用しているのか把握していないです	定員は10人です。人員配置は最低基準で行っている為人員を増やしてまいります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9			1	・視覚、導線の環境遊びや感覚プログラムは本人に合っていて良い ・支援日の情報伝達をもう少し欲しい ・発語がないので泣いた・怒ったタイミングがどのような時に不安定になったか ・楽しい前提で通うので心の変化部々がノートで書かれてると安心します ・先生の役割分担があると個人的に思っています ・休息スペースもあって、トイレにも自分で行けているので問題ないと思う	貴重なご意見ありがとうございます。職員の役割分担は必ずするようにしております。発語のないカタコトのお子様も発語が出来るよう今後も頑張ります。記録の仕方を検討してみます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	3			・なってます	年齢相応に合わせるのが難しいですが、個々の対応ができるよう変更を行ってまいります。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	8	2			・書類を通して	まだまだ分析ができていないと思いませんが、日々確認しながら支援向上を目指します。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	2		2	・書類を通して	地域支援に関しては、なかなかできず申し訳ございません。今後の課題として努力してまいります。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	1			・行われています	高評価ありがとうございます。口頭ばかりでの回答で申し訳ございません。書面でお渡しできるよう頑張ります。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9			1	・時々、お出かけ学習があります ・子供も楽しみにしています ・内外ともに多くのプログラムがあって満足しています ・様々な所へ行って下さり親として嬉しい ・感謝してます	高評価ありがとうございます。楽しみながら活動ができるよう、これからも頑張ります。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	2	1	3	・お出かけ学習にて ・児童発達支援の場で、障がいのない子どもとの交流を望んでいない ・それは個々で望む者が行えば良いと思っている ・センターとの見学があり、連携に満足している	難しい問題なので、日々検討はしております。保護者様の意向を今後も尊重してまいります。
保護者 への 説明 等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	2			・その都度されています	高評価ありがとうございます。来年度については5月頃再度お知らせいたします。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	7	1	1	1	・書類を通して	高評価ありがとうございます。また、保護者様に分かりやすく説明ができるように努力してまいります。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	5	2	2	1	・アドバイスを受けました ・ペアトレ等が行われているわけではないが、家での事など相談できている	ペアレントトレーニングをなかなかできず申し訳ございません。引き続き相談支援は改善しながら進めてまいります。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10				・こちらから質問したり、相談した際に回答をくれている ・よく聞かせて頂いています。	高評価ありがとうございます。お役にたてるように情報収集頑張ります。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	1			・日頃から ・あります	高評価ありがとうございます。引き続き頑張っております。

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1	2	5	・父母会がある方がよい人と、そうでない人がいると思うので必ずしも必要ではないと個人的には思っています ・利用頻度が少ないし、交流が少ないので大丈夫です ・こちらの要望を聞いて頂いてます	貴重なご意見ありがとうございます。私どもも全体での保護者会は難しくも内容を検討しております。ミニ茶話会が出来ればと考えております。
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8	1		1	・LINEを介し対応して頂いてます	引き続きLINEを活用して行う予定ですが、事業所内相談も承りますので活用してください。
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	2	1		・子どもの小さな傷etcをこちらから発信しての説明があった ・事業所側も把握して欲しい ・すぐかかれています	必ず連絡帳・送迎時に説明をするよう職員一同共有しておりますが、時折忘れてしまし申し訳ございません。忘れないように努力してまいります。
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	1		3	・行事予定や連絡事項を配布してくれているので、確認できています ・お手紙を介して行われてます	出来れば毎月お便りを作成したいのですが、時折LINEメッセージで対応させていただきます。
	⑲ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	6			4	・他のお子さんのプライベートな情報を耳にする時があり、自分の子も話されているか心配になる ・お友達の名前が時々出ます	貴重なご意見ありがとうございます。職員一同説明時のマニュアルを作成し、不安にならないように努力してまいります。
非常時等の対応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5	3		2	・実施したかもしれないが覚えていない ・緊急時の対応についてはこちらの希望を記入した用紙を提出しています ・書類を通じて説明がありました	マニュアル説明はなかなかできませんが、玄関先に掲示しております。来所の折にどうぞご覧ください。
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3			7	・子供の利用日には当たっていません	訓練に関しましては、火災・地震を中心に3ヶ月に1度行っております。土曜日祝日等は室内でできる訓練を行うようにしております。
満足度	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	6	2	1	1	・楽しそうに通所しているので満足している ・発語がなく、本人から聞けない ・イベントの時はいつも楽しそうです	貴重なご意見ありがとうございます。保護者様にお話が出来よう語彙力の向上を目指します。
	㉓ 事業所の支援に満足しているか	9	1			・子供が嫌がっていないので満足しています ・総合的にまんぞくしている、感謝している ・お出かけ訓練が多くて、とても助けられています	高評価ありがとうございます。ご家族で楽しくお出かけが出来るように職員一同支援してまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。